

## 人日（じんじつ）

校長 萩原哲哉

新しい年、令和3年がはじまりました。「年度」という場合には、まだ令和2年、です。カレンダーのはじまりが1月なので、不思議な感じがします。それでも3学期は、年度最後の学期ですから、今の学年のまとめをしたり、次の学年ー6年生は次の学校・中学校ーに向けた準備をしたりする、大切な時間になります。

ところで、カレンダーといえば、3月3日は何の日ですか？・・・そう、ひなまつり。桃の節句とも言いますね。では、5月5日は？・・・端午の節句、子どもの日ですね。

「節句」とは、季節の節目になる日のことで、一年に5回あります。3月3日、5月5日、に続いて、7月7日。七夕です。そして9月9日。秋といえば菊の花。重陽、菊の節句と呼ばれる日です。これで、4つ。あと一つの節句はいつでしょう。3・3、5・5、7・7、9・9と続いたので、「11・11」、あるいは「1・1」？と思いたいところですが、答えは、1月7日。まさに今日、です。「人間の日、人の日」と書いて、「人日（じんじつ）」という節句の日です。昔の中国で、新年の7日目を、人間の日としてきたことに由来します。この日に七種類の草を煮て食べると、一口で10歳若返るといふ言い伝えがあり、七草がゆを食べる習慣が生まれました。

カレンダーだけからでは中途半端な日付のように思えますが、1月7日を、ただ「七草がゆを食べる日」と考えるのではなく、「人日」、一年をここからスタートさせる日、お正月気分の一区切りをつけ、人として一年を・一年の過ごし方を自覚する日、そんな風に考えたいと思います。

スタートにあたり、大切なことは、目標を立てること。3学期だけの目標でも結構ですし、一年間、令和3年の目標でも構いません。すでに目標を考えている人もいることと思いますが、物事のはじまり、令和3年のはじまりにあたり、一人ひとり、自分の目標を考えてほしいと思います。

「目標」は、「これから達成したり、実現させたりしようと思うもの」の意味です。ですから、「今年は勉強を頑張る」「体力をつける」「かぜをひかない」といったものも、目標ではあるのですが、これでは物足りない。なぜって、「どこまで頑張るの？」「なんの勉強を頑張るの？」「かぜをひかないために、何を

の？」といった、具体的なことがわからないから、です。

英語の力を借りて考えましょう。英語では例として、今挙げたような目標を「ゴール」と言います。大きなめあて、目指していくところ、の意味ですね。

もっと具体的に、「どこまで進むか」「何を達成するか」を表したものは「ターゲット」という言葉を使います。的当てゲームの的のことも、ターゲットと言いますね。

「〇月までに、〇年生の漢字をすべて書けるようにする」「〇〇検定の4級に合格する」「長距離のタイムを〇秒縮める」など、具体的な目標が、ターゲットです。

目標を「ゴール」で考えることも価値がありますが、人日の今日だからこそ、「ターゲット」の目標を考え、早速とりかかってほしいと思います。

コロナウイルスへの用心も引き続き大切にして、3学期を充実した時間にしていきましょう。